白石市人事行政の運営状況

問総務課　☎22-1331

本市の人事に関する公平性と透明性を図るため、令和3年度の採用状況や給与、勤務時間など人事行政の運営状況をお知らせします。なお、「人事行政の運営等のあらまし」の詳細は市ホームページをご覧ください。

1．職員の任免および職員数

(1) 職員の任免

ア.採用試験（令和３年度）

区　分	申込者数	第１次受験者数(A)	第１次合格者数	最終合格者数(B)	競争倍率(A)／(B)
上級行政	110人	102人	30人	4人	25.5倍
上級土木	2人	2人	1人	0人	―
上級建築	1人	1人	1人	1人	1.0倍
上級保健師	6人	6人	5人	3人	2.0倍
上級社会福祉士	3人	3人	2人	1人	3.0倍
中級保育士	4人	4人	2人	2人	2.0倍
初級行政	7人	7人	5人	4人	1.8倍
上級行政(10月採用)	28人	28人	11人	4人	7.0倍
上級保健師(10月採用)	0人	0人	0人	0人	―
上級行政(9月)	35人	32人	16人	3人	10.7倍
上級保健師(9月)	3人	2人	2人	1人	2.0倍
上級行政(12月)	25人	17人	10人	4人	4.3倍
上級保健師(12月)	1人	1人	1人	1人	1.0倍

イ.職員の退職（令和３年度）

定年退職	9人
普通退職	12人
その他	2人
会計年度任用職員	3人
計	26人

※職員数は、毎年度総務省へ報告する「地方公共団体定員管理調査」の数値です（市長・副市長および教育長を除く）。条例定数は、「白石市職員定数条例」に規定する職員定数。「その他」は、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局および農業委員会事務局の職員数です。

(2) 職員数（令和４年４月１日現在）

区　分	一般行政職	技能労務職	小計	会計年度任用職員	合計
市長部局	246人	8人	254人	49人	303人
教育委員会	41人	9人	50人	2人	52人
上下水道事業	14人	0人	14人	0人	14人
その他	11人	1人	12人	0人	12人
計	312人	18人	330人	51人	381人

2．人事評価

昇給判定：年１回（12月）、勤勉手当査定：年２回（５月・11月）
会計年度任用職員任用時の選考（２月）

3．職員の給与

(1) 人件費（令和３年度普通会計決算）

歳出額(A)	18,512,175千円
人件費(B)	2,353,179千円
人件費率(B／A)	12.7%
前年度の人件費率	13.1%

※人件費＝一般職・特別職に支給される給与、共済負担金、退職手当負担金、災害補償費など

(2) 職員の平均給料･給与･年齢（令和４年４月１日現在）

【一般行政職】

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
白石市(会計年度任用職員除く)	305,175円	364,206円	41.8歳
白石市(会計年度任用職員)	172,802円	176,990円	44.4歳
国	323,711円	405,049円	42.7歳

【技能労務職】

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
白石市(会計年度任用職員除く)	270,944円	299,487円	53.2歳
白石市(会計年度任用職員)	186,900円	195,427円	64.0歳
国	328,416円	286,570円	51.1歳

4．職員の勤務時間そのほかの勤務条件

(1) 勤務時間（出先機関などを除く標準的なもの）

１日の勤務時間	始業	休憩時間	終業
7時間45分	8:30	12:00～13:00	17:15

(2) 時間外勤務および休日勤務（令和３年度）

区分	時間外・休日勤務総時間	平均時間外・休日勤務時間（1人当たり年間）
職員(会計年度任用職員除く)	28,357時間	100時間
会計年度任用職員	225時間	5時間

5．職員の分限・懲戒処分（令和３年度）

分限処分：０件　懲戒処分：０件

6．職員の退職管理

令和３年度定年退職者数	9人
うち令和４年度再任用職員	6人

7．職員の研修および勤務成績の評定

・職員研修の状況（令和３年度）

職員の研修は、「白石市人材基本方針」および「白石市職員研修計画」に基づき、庁内研修のほか、宮城県市町村職員研修所などへの派遣研修を実施しています。

●庁内研修　新規採用職員研修：16人、行政研修：209人、法制執務研修：14人

●派遣研修　仙南四市職員研修運営協議会：19人、宮城県市町村職員研修所:68人、東北自治研修所:2人、全国市町村中央研修所：0人

学校キラリニュース

白石市学力向上プロジェクトの取り組み

白石第二小学校　非認知能力を高めて、上げよう学力！

白石第二小学校では、学力向上を目指し児童が“目標を決めて、意欲をもって、新しいことに自ら取り組む力”（非認知能力）を高める活動に力を入れています。今年４月に５・６年生中心に結成した校内安全委員会では、児童の視点から校舎内外の危険箇所を点検し「危険箇所点検マップ」を作成しました。

また、城下町白石に誇りを持つ心を育むことを目標に行う「城下町クリーンアップ作戦」は開校記念日の11月１日にあわせ、全校で白石城周辺や地域のごみ拾い活動を行っています。さらに、全校児童の「あいさつ運動」も充実し、校舎には毎日元気のよいあいさつが響いています。「二小アルカス隊」の活動について副隊長の６年大庭理央さんは「二小アルカス隊は、みんなで地域を安全で安心な場所にすることが目標です。先日、白石警察署の方々と通学路の危険箇所点検を行い、２学期の始業式で全校児童に報告しました。自分たちが気付き広めることで安全で安心な学校生活を送っていきたいです」と話してくれました。

▲５・６年生が作成した危険箇所点検マップ

▲城下町クリーンアップ作戦の様子

▲アルカス隊の一日警察署長と警察官

問学校管理課　☎22-1342

越河小学校　児童の主体性を育む教育活動の展開

越河小学校では、児童が主体的に行動できる力を身に付けるための教育活動を行っています。本年度発足した学校安全委員会では、６年生が校内の危険箇所を調べ地域や保護者の方に安全に関する取り組みを提案し、危険箇所や安全な遊具の使い方を全校児童に呼び掛けています。委員会に参加した児童からは「安全を意識するようになりました」「下の学年が安全に遊べるように呼び掛けを頑張っています」という声が聞かれ、安全に対する主体的な態度が高まっています。

６年生の修学旅行では訪問した仙台の震災遺構で防災について学習し、災害が発生したときに主体的に行動できる力を向上させています。

また、児童会主催の取り組みとして「越河小あいさつの日」を実施し、明るく元気なあいさつができた児童を昼の放送で紹介しています。

これらの活動を通して、児童は自分で考え主体的に行動する習慣が身に付きつつあり、それが学習にも良い影響を与えています。今後は「体験と貢献」をキーワードに、地域について学んだり貢献したりする活動を展開し、児童の自己有用感とシビックプライドを醸成していきます。

▲学校安全委員会での児童代表の説明

▲震災遺構訪問での防災学習の様子

▲「越河小あいさつの日」の取り組み